



内田智久医師

バムルンラード・インターナショナル病院 医療セミナーを開催

日本人になぜ胃がん患者が多いのか？ ——ピロリ菌と胃がんの関係

合商業施設「ターミナル21」で医療セミナーを開催する。テーマは「日本人になぜ胃がん患者が多いのか？」——ピロリ菌と胃がんの関係」。

講演者は、大分大学分子病理学教授の内田智久医師、およびバムルンラード病院内科医、百武加恵医師。「凶暴な日本人のピロリ菌、おとなしいタイ人のピロリ菌」などピロリ菌の不思議な話が満載だ。

参加費は1人2000バーツ(軽食buffet付)。完全予約制で、申し込みは、yuko@bumrungrad.com、www.bumrungrad.com からできる。締め切りは6月11日、定員は100人。

同セミナーは、バンコック銀行、オリンパス(タイランド)が協賛する。問い合わせは、バムルンラード病院マーケティング部、田村まで(02-667-1318、日本語)。

バムルンラード・インターナショナル病院は6月14日の午後6時から午後8時20分、高架電車「スカイトレイン(BTS)」アソーク駅に隣接する複